



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月14日

上場会社名 株式会社サンエー化研

上場取引所 東

コード番号 4234 URL <http://www.sun-a-kaken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 明広

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高部 丈昌

TEL 03-3241-5702

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

2022年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家、証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	14,059	4.8	147		27	96.2	18	
2022年3月期第2四半期	14,766		645	311.0	726	195.8	523	203.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 122百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 480百万円 (36.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	1.64	
2022年3月期第2四半期	47.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	36,020	20,679	54.8	1,798.01
2022年3月期	35,946	20,928	55.6	1,819.56

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 19,732百万円 2022年3月期 19,969百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		9.00		11.50	20.50
2023年3月期		11.50			
2023年3月期(予想)				9.00	20.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 80周年の節目となる2022年度中に年間5円の記念配当(2022年3月期期末配当2.5円、2023年3月期中間配当2.5円)を実施する方針とし、当該金額を上期の配当金額に含めております。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,300	1.3	100		120	87.7	40	97.4	3.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	11,320,000 株	2022年3月期	11,320,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	345,345 株	2022年3月期	345,345 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	10,974,655 株	2022年3月期2Q	10,974,655 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国・上海のロックダウン解除を受けて企業の生産活動が自動車業界を中心に持ち直してきているものの、急激な円安や資源・エネルギー価格の高止まりによる物価上昇により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような状況下、当社グループにおきましては、中国・上海でのロックダウンによるサプライチェーンの停滞・混乱から過剰在庫となった液晶パネルの生産調整が長引いている影響で、機能性材料セグメントの受注が大幅に減少したことが響き、減収となりました。損益面では、原油価格の高止まりによる原材料価格や電力燃料費の高騰による製造原価上昇分を販売価格に転嫁しきれなかったことに加えて、機能性材料セグメントの販売量減少による固定費率の上昇が重なり営業赤字となりましたが、経常損益は受取配当金や為替差益が寄与し黒字となりました。

また、9月23日から24日にかけて静岡県に甚大な被害をもたらした台風15号により、当社静岡工場の外部倉庫が浸水被害を受けて棚卸資産の一部が損傷し、特別損失を計上いたしました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高140億59百万円（前年同期比4.8%減）、営業損失1億47百万円（前年同期は営業利益6億45百万円）、経常利益27百万円（前年同期比96.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失18百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益5億23百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別	売上高	構成比	前年同期比
軽包装材料	6,022百万円	42.8%	4.3%増
産業資材	4,824百万円	34.3%	1.9%増
機能性材料	3,047百万円	21.7%	26.2%減
その他	165百万円	1.2%	27.8%増
合計	14,059百万円	100.0%	4.8%減

(軽包装材料)

行動制限の緩和に伴い社会経済活動の正常化が進み、娯楽施設や行楽地に人出が戻りはじめました。これに猛暑の影響が重なり、清涼飲料用パウチの需要が増加しました。また、電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」の販売も好調を維持しており食品用包材は増収となりました。

また、この人出の戻りにより化粧品用包材やハンドソープ用包材などの需要が高まり、これらの用途の受注は増加しましたが、詰め替え用パウチの減少が影響し、日用品等の包材の売上は微増にとどまりました。

医薬品・医療用包材は、世界的に医療機関の診療体制が正常化に向かうなかで、検査用品用包材の受注が増加しましたが、その他の医薬品・医療用包材の受注が低調に推移したため、売上は微減となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は60億22百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

(産業資材)

テープ基材等に使用される紙・布へのラミネート製品については、一部テープメーカーの製品統廃合等による需給の変化や、海外製粘着テープの輸入価格上昇の影響を受けて、受注は増加しております。また、原材料価格や電力燃料費の値上がり分の価格転嫁進行もあって増収となりました。

剥離紙については、自動車関連部材向けが回復途上にあるなか、スマートフォンやタブレットの販売伸び悩みの影響を受けてFPC（フレキシブルプリント基板）用工程紙の受注が低迷し、売上は低調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は48億24百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

(機能性材料)

ウクライナ危機の長期化や中国経済の減速、各国の物価高騰の影響により、液晶テレビやスマートフォン等の販売は低迷しております。また、中国・上海でのロックダウンによるサプライチェーンの混乱に起因した液晶パネルの過剰在庫は、液晶パネルメーカーの大幅減産を引きおこし、これらの用途の光学用表面保護フィルムの受注が大幅に減少いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は30億47百万円（前年同期比26.2%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

総資産は前連結会計年度末と比べて73百万円増加いたしました。これは主に電子記録債権が4億9百万円増加したことや商品及び製品が3億16百万円増加したこと等の増加要因や、現金及び預金が2億84百万円減少したことや売掛金が2億64百万円減少したこと等の減少要因によるものであります。

（負債）

負債は前連結会計年度末と比べて3億22百万円増加いたしました。これは主に電子記録債務が2億39百万円増加したことやその他流動負債に含まれる1年内返済予定の長期借入金が2億12百万円増加したこと等の増加要因や、長期借入金が1億45百万円減少したこと等の減少要因によるものであります。

（純資産）

純資産は前連結会計年度末に比べて2億49百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が1億44百万円減少したことやその他有価証券評価差額金が98百万円減少したこと等の減少要因によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを勘案した結果、2022年5月16日に決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想を変更いたしました。詳細につきましては、本日（2022年11月14日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,296,308	7,011,913
受取手形	1,161,681	1,086,130
売掛金	6,260,555	5,995,668
電子記録債権	3,249,754	3,659,233
商品及び製品	1,528,704	1,844,861
仕掛品	1,675,505	1,884,730
原材料及び貯蔵品	1,065,229	1,239,518
その他	359,576	239,899
貸倒引当金	△26,899	△27,577
流動資産合計	22,570,416	22,934,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,081,345	3,018,924
機械装置及び運搬具（純額）	1,271,395	1,163,839
土地	2,552,598	2,552,598
その他（純額）	155,076	145,487
有形固定資産合計	7,060,416	6,880,850
無形固定資産	47,223	45,496
投資その他の資産		
投資有価証券	4,462,335	4,340,552
退職給付に係る資産	1,217,497	1,220,707
その他	588,737	598,213
投資その他の資産合計	6,268,571	6,159,473
固定資産合計	13,376,211	13,085,820
資産合計	35,946,627	36,020,197

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,284,047	3,320,102
電子記録債務	3,735,510	3,975,432
短期借入金	3,530,000	3,540,000
未払法人税等	16,662	27,485
契約負債	500	8,219
賞与引当金	454,486	451,308
役員賞与引当金	7,391	6,951
その他	1,057,259	1,244,685
流動負債合計	12,085,856	12,574,184
固定負債		
長期借入金	1,364,672	1,219,184
役員退職慰労引当金	86,086	99,033
退職給付に係る負債	822,128	842,806
資産除去債務	131,897	132,140
その他	527,263	473,537
固定負債合計	2,932,048	2,766,702
負債合計	15,017,905	15,340,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,000	2,176,000
資本剰余金	2,238,875	2,238,875
利益剰余金	14,008,894	13,864,647
自己株式	△116,042	△116,042
株主資本合計	18,307,728	18,163,480
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,510,074	1,411,781
為替換算調整勘定	△5,084	9,809
退職給付に係る調整累計額	156,401	147,488
その他の包括利益累計額合計	1,661,392	1,569,079
非支配株主持分	959,601	946,750
純資産合計	20,928,722	20,679,310
負債純資産合計	35,946,627	36,020,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	14,766,745	14,059,276
売上原価	12,505,927	12,679,169
売上総利益	2,260,817	1,380,106
販売費及び一般管理費	1,615,559	1,527,761
営業利益又は営業損失(△)	645,258	△147,654
営業外収益		
受取利息	3,259	34
受取配当金	65,048	72,649
作業くず売却益	8,646	13,507
クレーム収入	561	6,407
為替差益	2,529	85,421
その他	16,174	14,978
営業外収益合計	96,219	192,998
営業外費用		
支払利息	14,234	14,361
その他	847	3,050
営業外費用合計	15,081	17,411
経常利益	726,395	27,932
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	15,901	—
固定資産売却益	12,000	—
特別利益合計	27,901	—
特別損失		
災害による損失	—	58,521
特別損失合計	—	58,521
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	754,296	△30,589
法人税、住民税及び事業税	162,687	15,283
法人税等調整額	47,145	△18,492
法人税等合計	209,832	△3,209
四半期純利益又は四半期純損失(△)	544,463	△27,380
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	21,456	△9,341
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	523,006	△18,039

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	544,463	△27,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67,343	△100,823
為替換算調整勘定	8,880	14,893
退職給付に係る調整額	△5,107	△8,913
その他の包括利益合計	△63,570	△94,843
四半期包括利益	480,893	△122,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	461,739	△110,352
非支配株主に係る四半期包括利益	19,154	△11,871

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	754,296	△30,589
減価償却費	389,429	365,948
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	12,073	24,811
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△58,014	12,947
貸倒引当金の増減額（△は減少）	242,257	678
受取利息及び受取配当金	△68,307	△72,683
支払利息	14,234	14,361
有形固定資産売却損益（△は益）	△12,000	—
債務保証損失引当金の増減額（△は減少）	△250,498	—
売上債権の増減額（△は増加）	287,078	△61,320
棚卸資産の増減額（△は増加）	△431,683	△699,670
仕入債務の増減額（△は減少）	321,509	293,945
未払消費税等の増減額（△は減少）	△157,184	37,361
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△31,226	△20,190
その他	△168,967	△67,458
小計	842,996	△201,858
利息及び配当金の受取額	67,772	72,683
利息の支払額	△13,744	△14,749
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△223,644	82,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	673,379	△61,167
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△460,642	△209,700
有形固定資産の売却による収入	12,000	—
投資有価証券の取得による支出	△21,147	△22,133
その他	△155,014	△7,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△624,805	△239,233
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	10,000
長期借入れによる収入	53,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△233,813	△33,488
配当金の支払額	△98,753	△125,651
非支配株主への配当金の支払額	△3,500	△980
リース債務の返済による支出	△14,218	△14,124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△297,285	△64,243
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,529	78,342
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△242,181	△286,302
現金及び現金同等物の期首残高	6,927,339	7,185,484
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,685,158	6,899,181

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	5,776,743	4,732,719	4,128,100	14,637,563	129,181	14,766,745
セグメント利益又は損失 (△)	273,969	15,681	356,943	646,593	△1,335	645,258

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	6,022,697	4,824,210	3,047,337	13,894,245	165,031	14,059,276
セグメント利益又は損失 (△)	102,175	△189,651	△78,681	△166,157	18,502	△147,654

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。